

授業科目名	先端基盤医学方法論		
科目責任者	さかい のりお 酒井 規雄	所属	神経薬理学
科目 コーディネーター	さかい のりお 酒井 規雄	所属	神経薬理学
授業方法	講義と演習		
概要	本講義では異なった研究アプローチを持つ上記の先端医科学の領域の中から履修学生が演習分野を複数選択し、各回は演習領域を専門とする教員がオムニバス形式で担当する。講義では学生による最新の研究領域の概説や研究成果についてのプレゼンテーションを基本として、担当教員と学生により当該専門領域の方法論に関する議論を行う。 各専門領域で異なる方法論を 学生のプレゼンテーションと教員による解説で理解を深める		
講義ユニットの到達目標	最新の研究領域に関するプレゼンテーションや議論を通して、先端的な医科学研究の基盤となる基礎・社会医学の研究方法を習得する。		
講義日程	参加学生を8班に分けて、テーマを決めた後に、担当基礎社会医学系教員の指導の下に論文の抄読と発表準備を行う。講義は適宜、年間8回行う。非常勤講師のセミナーも行う。		
出席の取り扱い	自分が担当の回は欠席しない。担当順は学生間で調整すること。		
評価項目	プレゼンテーションの内容と授業中の議論		
評価法	プレゼンテーションの内容と授業への参加態度などを踏まえて総合的に評価する。		
予習・復習へのアドバイス	毎回の担当者は、発表する論文を予め参加学生に伝え、それに基づいて予習をする。また、論文内容で疑問を持った事項を、ネットなどで調べて、関連知識を深める。		
履修上の注意 アドバイス	プレゼンテーションの準備に際して助言が必要な場合は、各担当教員へ電子メールで要件を事前連絡し、アポイントを取ることを。		
推奨参考書	特になし		